

漁海況情報 (漁況)

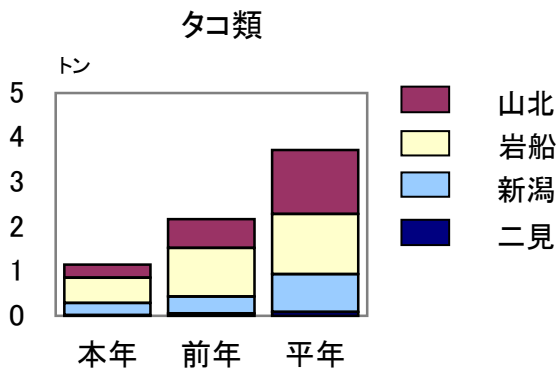
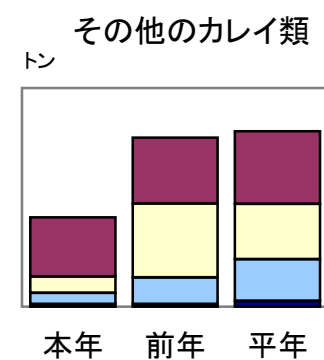
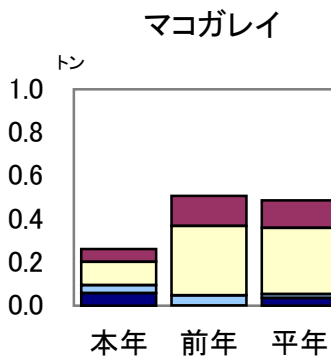
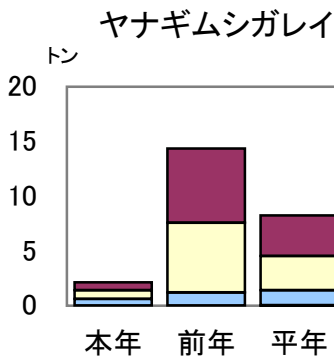
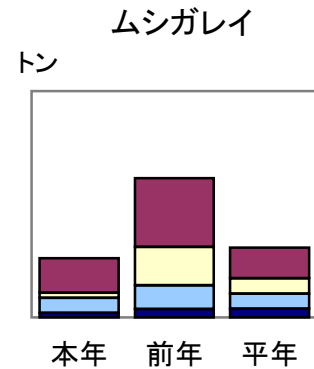
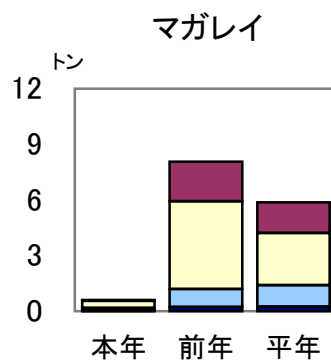
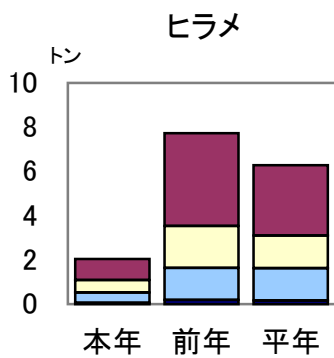
発行
新潟県水産海洋研究所
新潟市西区五十嵐3の町13098-8
TEL:025-261-2044

第453号 平成22年1月発行

◎板曳網 新潟県内主要地区の水揚量(平成21年12月分)

単位:トン

地区	魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山北町		0.95	0.05	1.22	0.76	0.06	1.35	0.30
岩船		0.57	0.38	0.18	0.79	0.11	0.38	0.57
新潟		0.46	0.16	0.53	0.60	0.04	0.25	0.27
二見		0.06	0.01	0.16	0.00	0.06	0.06	0.02
計		2.04	0.60	2.09	2.15	0.27	2.04	1.16
前年		7.73	8.07	4.92	14.37	0.51	3.87	2.17
5年平均		6.28	5.86	2.47	8.23	0.49	4.01	3.72



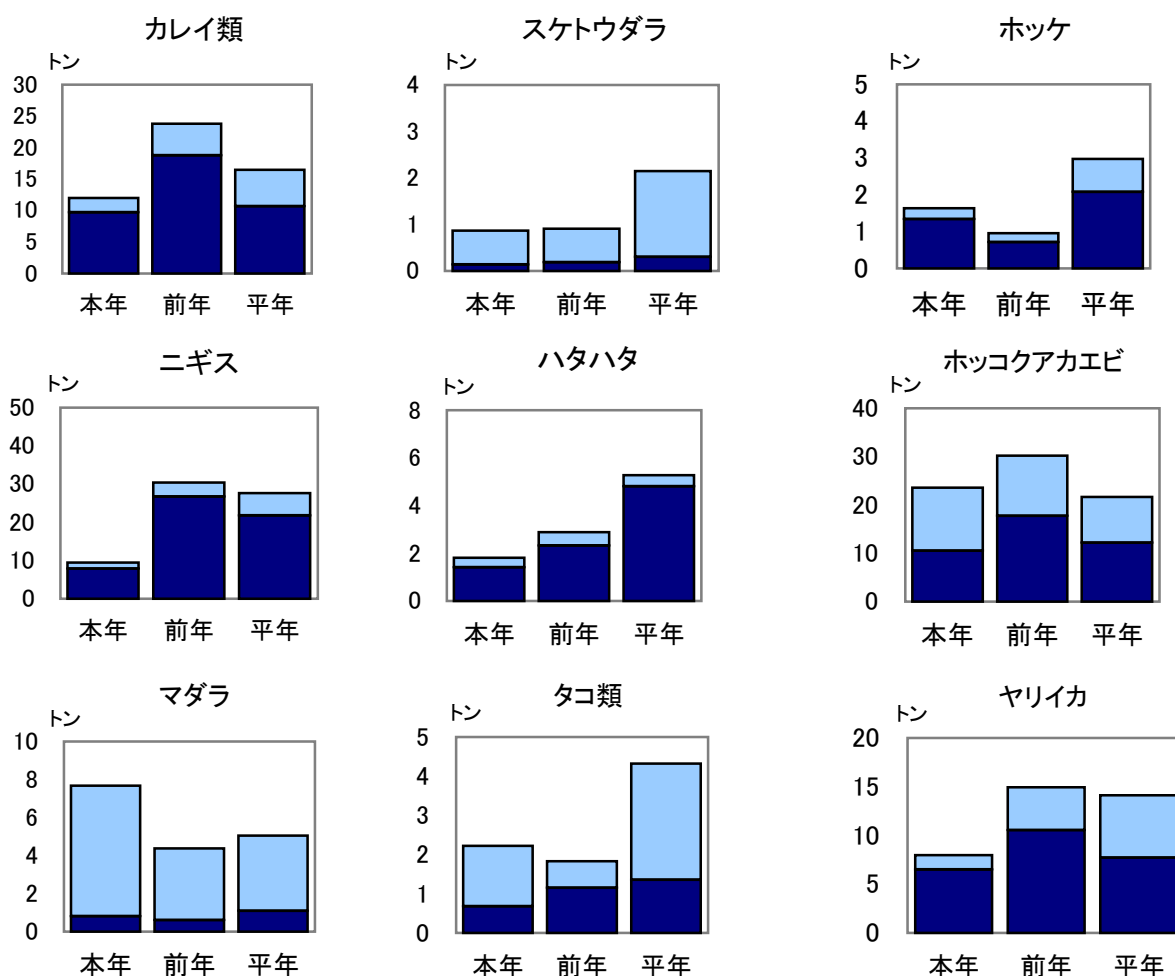
・時化と大型クラゲの影響で、主要4地区の漁獲量は28トン、前年比31%(金額37%)、平年比39%(金額46%)となり漁獲量・水揚げ額ともに前年及び平年を大きく下回りました。
 ・12月の延べ出漁隻数は、前年比46%、平年比57%でした。
 ・魚種別では、ムシガレイが平年並みでしたが、その他は前年及び平年を大きく下回りました。ヤナギムシガレイは1月に入り岩船で大漁となっています。
 ・大型クラゲの板曳網への影響は、12月下旬から1月中旬にかけて終息に向かっていきます。

◎底曳網等 新潟県内主要地区の水揚量（平成21年12月分）

単位：トン

地区	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコクアカエビ	マダラ	タコ類	ヤリイカ
山北町	1.36	0.42	0.16	0.79	0.39	0.02	2.08	1.15	0.60
岩船	0.56	0.07	0.14	0.48	0.01	0.00	1.02	0.22	0.73
新潟	0.40	0.24	0.00	0.39	0.01	13.05	3.78	0.18	0.17
出雲崎	3.67	0.09	0.58	1.86	0.12	0.01	0.30	0.30	1.64
名立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.15	0.00	0.00	0.00
筒石	3.63	0.00	0.54	4.77	0.58	0.00	0.47	0.23	4.04
能生	2.28	0.05	0.21	1.21	0.68	4.17	0.03	0.11	0.81
糸魚川	0.12	0.00	0.00	0.00	0.02	4.19	0.00	0.04	0.00
計	12.02	0.87	1.63	9.50	1.81	23.59	7.68	2.23	7.99
前年	23.79	0.91	0.96	30.38	2.89	30.23	4.37	1.83	14.95
5年平均	16.47	2.15	2.97	27.64	5.28	21.66	5.05	4.33	14.13

■ 山北町～新潟 ■ 出雲崎～糸魚川



・時化のため12月の延べ出漁隻数は、前年比66%、平年比72%でした。
 ・主要8地区の漁獲量は129トンで前年比56%(金額68%)、平年比65%(同80%)となり、漁獲量・水揚げ額ともに前年及び平年を大きく下回りました。
 ・主要8地区の漁獲量が前年及び平年を大きく下回る中、ニギスは前年及び平年をさらに大きく下回りましたが、カレイ類及びホッコクアカエビはほぼ平年並みとなりました。しかし、マダラは前年及び平年を上回りました。
 ・その他の魚種(全漁法)では、前年比でマダイ47%、ズワイガニ(雄)61%、ズワイガニ(雌)85%となり、アンコウは前年比(39%)及び平年比(47%)ともに大幅に下回りました。

漁海況情報 (漁況)

発行
新潟県水産海洋研究所
新潟市西区五十嵐3の町13098-8
TEL:025-261-2044

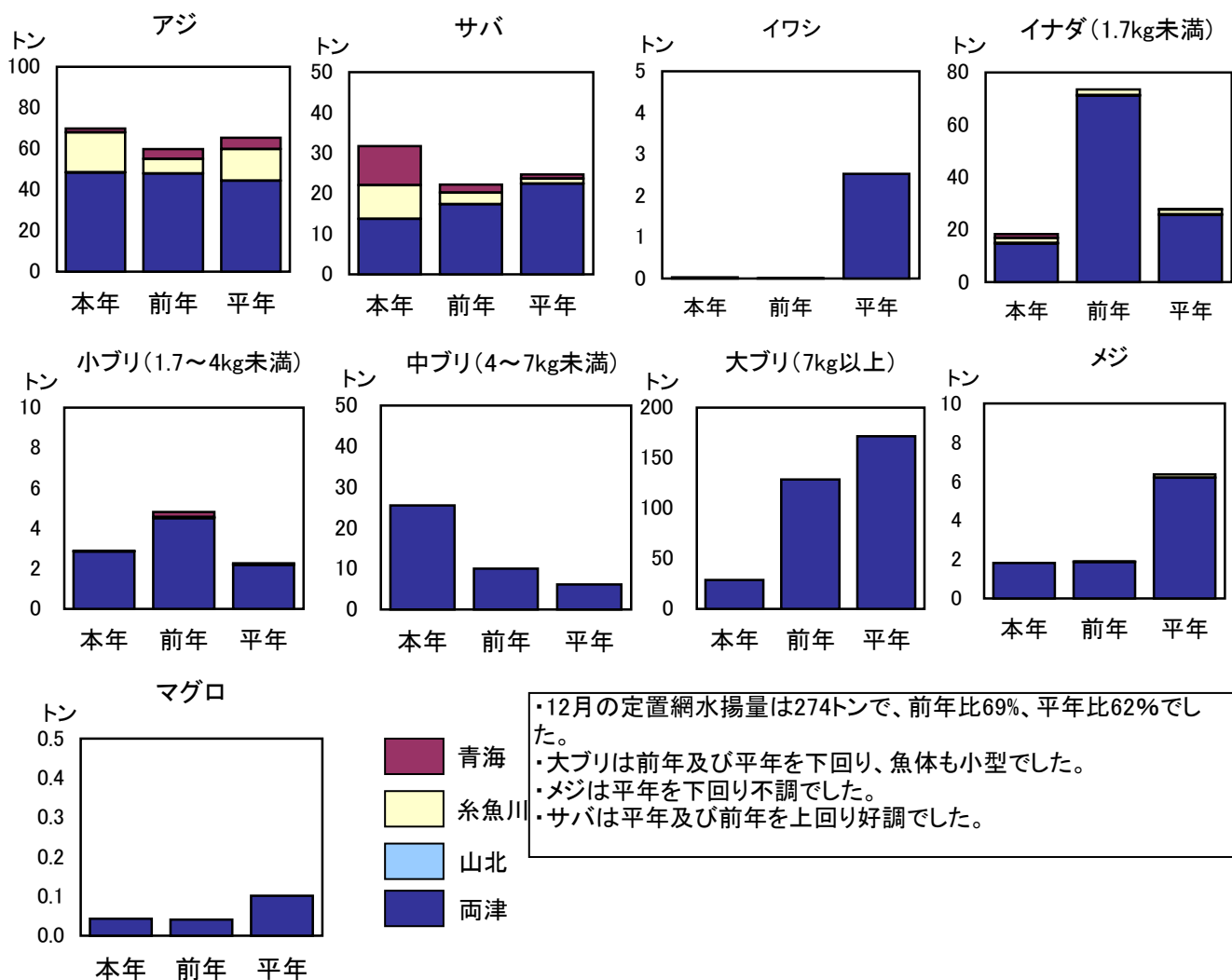
第453号 平成22年1月発行

◎定置網 新潟県内主要定置網の水揚量(平成21年12月分)

単位:トン

魚種 地区	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	48.4	13.7	0.0	14.6	2.8	25.5	28.6	1.8	0.0
山北	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青海	1.8	9.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	19.5	8.3	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	69.8	31.7	0.0	18.3	2.9	25.5	28.6	1.8	0.0
前年	59.8	22.2	0.0	73.5	4.8	10.0	128.6	1.9	0.0
5年平均	65.4	24.7	2.5	27.9	2.3	6.1	171.5	6.4	0.1

魚種 地区	シイラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	1.5	0.0	0.0	13.3	3.2	1.4	0.1	59.4	214.4
山北	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	7.9
青海	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	2.4	15.6
糸魚川	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.9	4.6	36.4
計	1.5	7.5	0.0	13.3	3.2	2.2	1.2	66.6	274.3
前年	2.2	16.5	0.0	8.6	3.5	3.0	1.6	60.6	397.1
5年平均	5.3	18.1	0.0	11.5	5.1	5.0	0.9	90.5	443.2



◎旋網(平成21年12月分)

単位:トン

港	魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新潟		260	707	0	0	0	3	970
柏崎		0	0	0	0	0	0	0
寺泊		0	0	0	0	0	0	0
計		260	707	0	0	0	3	970
前年		119	1,258	0	0	0	1	1,379
5年平均		178	595	0	25	42	4	845

- ・12月の水揚げは前年比70%、平年比115%でした。
- ・アジが前年比218%、平年比146%と好調でした。

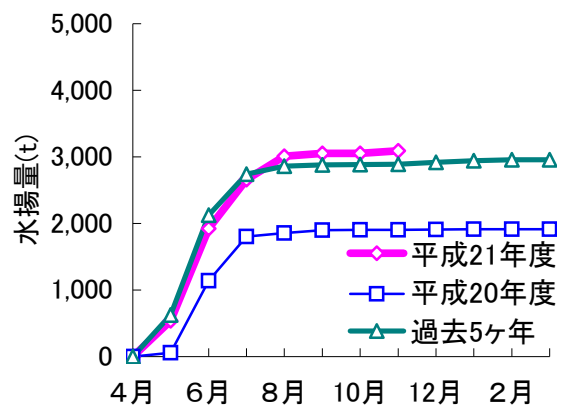
◎イカ釣 県内主要地区の水揚量(平成21年12月分) 単位:トン

地区	隻数	水揚量
山北町	0	0
新潟	0	0
両津	14	3
計	14	3
前年	19	4
5年平均	66	28

隻数:操業した延べ隻数

- ・12月の主要3港での水揚げは3トンで、前年比74%、平年比21%でした。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎大型クラゲ情報

1月に入って、本県海域では出現量が急減しました。1月20日現在、板曳網、底曳網などでは0~3個程度の入網で、ほぼ操業に支障のない状態となり終息に向かっています。

◎近県の漁況・・・カッコ内の数字(%)は前年同月比(石川県は前年同月比)

山形県(12月)

定置網:サケ28.5トン(109%)、ハタハタ13.3トン(594%)、ブリ類3.7トン(28%)、底びき網:ハタハタ41.8トン(152%)、マダラ20.1トン(203%)、タイ類23.4トン(60%)、ホッコクアカエビ18.3トン(53%)、ヤリイカ7.0トン(79%)、延縄:マダラ17.9トン(82%)、一本釣:ブリ類20.5トン(224%)、採貝藻:アワビ2.3トン(91%)、サザエ4.4トン(132%)、船凍いか釣:スルメイカ162.3トン(51%)

富山県(12月)

アジ(定置網、八艘張網):514トン(203%)、フクラギ(定置網)337トン(218%)、サワラ(定置網、八艘張網、漁船漁業):34トン(260%)、サバ(定置網)52トン(85%)、ソーダガツオ(定置網、八艘張網)1301トン(135%)、ベニズワイ(漁船漁業)110トン(114%)、アオリイカ(定置網)34トン(80%)、カワハギ類(定置網):50トン(49%)

石川県(1月上旬)

定置網:アジ61.2トン(97%)、ブリ6.8トン(10%)、フクラギ24.8トン(699%)、サワラ6.2トン(213%)、サバ5.7トン(99%)、ウマヅラハギ15.9トン(182%)、メジ6.9トン(77%)
刺網:マダラ2.6トン(118%)、ウマヅラハギ4.3トン(456%)、底びき網:マダラ1.2トン(13%)、アカガレイ3.2トン(13%)、ニギス15.1トン(60%)